

埼玉労山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙 発行:武笠真次
〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階 編集:澤藤俊昭
<http://www.justmystage.com/home/tozans/index.html>
<http://www.justmystage.com/home/tozan/>

- 1) 遭難救助と防災ヘリ墜落、他
- 2) 県民クリーンハイク報告(中部ブロック)、女性担当者会議、
- 3) 登山学校 7月講座「登山と運動生理学」を終えて
- 4) 岩ネット 那須・井戸沢報告、他
- 5) 加盟団体の動き、山の雑記帳、夏山計画、他
- 6) 理事会報告、お知らせ、他

夏山の遭難事故報道の中から

奥秩父・滝川での三重遭難事故と北海道ヌカピラ岳ツアー登山事故

中高年登山者の遭難事故

ハイペースで増加

今、中高年登山者の事故がハイペースで増加傾向にあり、全国連盟では夏山を前に緊急アピールを出して訴える程！警察庁によると、昨年度の遭難事故の概要と状況は事故件数(1676件) 事故者数(2085名) 死亡行方不明者(317名)と過去最高で道迷いや転倒・滑落等を中心として、遭難者の75%以上は40歳以上の中高年登山者だったと発表。60歳以上の重大事故が目立つようです。

救助活動中の埼玉防災ヘリ墜落と取材の日テレ記者三重遭難

今年も夏山の遭難事故が多発している中、皆さんが報道で知られているように、7月25日に東京都勤労者山岳連盟主催の沢登りネットに参加していた会員が、奥秩父・滝川本流遡行中に滝つぼに転落し、仲間が救出し心肺蘇生をしても息は戻らず、救助要請。

救助要請を受け、現場にきた防災ヘリが墜落。また、数日後取材にきた日本テレビ記者の遭難事故と三重遭難がおきてしまいました。

事故の総括には時間がかかるとおもいますが、情報が入り次第、埼玉労山でも事故分析し、事故防止に役立てたいと考えています。事故で亡くなられた方々のご冥福をお祈り致します。

埼玉県勤労者山岳連盟 理事会

救助隊 搬出訓練学習会と鷹の巣沢訓練報告

日時 7月25日「東日原駐車場」 午前7:00集合
場所 奥多摩山域「鷹ノ巣谷」遡行
参加者 隊長:徳重博文・安田秋雄・佐々木奎吾
浅見政人・若木由和 5名

【記録】

アンブリッジのシステム作り、「引き上げ」「引き下ろし」の訓練をする予定がメンバーが足りず、鷹ノ巣谷に変更となりました。

朝、7時に鷹ノ巣谷登山口下「駐車場」集合する。徳重隊長より、活動予定の話を聞く。3〜4時頃雷雨注意報が出ています。来る、来ないに関わらず、大滝付近まで遡行して、登山道(エスケープ)に出て下山します。

装備を整えて出発、鷹ノ巣山登山口の看板を見て日原川に50m程下ると右岸に鷹ノ巣谷の出会いがある。浅見さんがトップで進む、水量も昨日の雨で多いよう

だ、滞場も流れが強い又、小滝もシャワーと言うよりかなり水流、この暑さ危険もなく、冷たさが気持ちいい、夏場最高のプレゼントと思われる。

20mある大滝の下部に着いた、ロープをだして浅見さんがリードで進む、全員が上部にたつた。途中にも旧ワサビ田があったが、ここにも多くの旧ワサビ田がある、石組などもしっかり

りしており、いつ頃まで作業をしていたのか又、相当きつい仕事であったか想像がつく。この辺にあるはずの作業道を確認したが見つからない、仕方なく大滝(80m)まで戻り安田さんトップで登山道(1,22?m)目指し取りついた、平均斜度(30°強)傾斜の強い所は35°近くあると思われるがかなりきつい。3〜4時頃が12時前に遠くで「ゴロゴロ」はじまり、登山道に着いた時には雷は近く大粒の雨が降り出し、昼食も「そこそこ」に下山する。状況により最後まで詰めに、エスケープの重要性、判断の難しさを改めて知らされた。

一記事訂正のお知らせ

埼玉労山 N0160号 1p

【記念講演会と記念レセプション】

通訳 大和田英子氏の紹介で早稲田大学準教授とありましたが誤りで、正式には早稲田大学教授です。訂正をお願いします。本当にすみませんでした。

中部ブロック

県民クリーンハイイク 報告

寄居・鐘撞堂山集中

6月6日 6団体 48名参加

【実施コース】

- ①元宿・鐘撞堂山(大宮)
- ②大正池・鐘撞堂山(浦和、くまざさ、ハイジ)
- ③桜沢・鐘撞堂山(北本岩つばめ) 3コース
- ※帰路は円良田湖・羅漢山・少林寺・寄居駅

【ゴミ処理場所と対応】

寄居町、円良田湖畔末野4区ゴミ置き場、寄居町の生活環境課、末野4区の区長さん、ともに気持ちよく協力してくれました。

【特記事項として】

※ゴミの散乱、不法投棄の状態

【参加団体名と参加者数】
大宮勤労者山岳会 12名
浦和くまざさ山岳会 7名
北本山の会 9名
ハイジアルペン 9名
浦和山の会 9名
登攀クラブ岩つばめ 2名
合計 6団体 48名

登山道にはごみはほとんどありませんでした。拾った可燃ごみのほとんどは、寄居駅から登山口までの町内で拾ったものです。

※登山道の状態
上記①コースは、2.5

【ゴミ量】
①飲料用缶(0kg) ②ビン(0.5kg) ③ペットボトル(0kg) ④可燃・ビニール、紙等(3kg) ⑤不燃、リサイクル不可の古い缶、その他(0.2kg)
合計 3.7kg

万分の1の地形図にあり、町の観光案内にはありませんが、しっかりした踏み跡があります。また上記③コースと下山コースは2.5万分の1の地図にはありませんが、観光案内にあって道もしっかりしています。山、沢の荒れの状態は特にありません。

※交流の取り組み

親子ハイキングがあつて頂上は混雑していて、頂上近くで実施した。内容は昼食料理のおすそわけ、各会の紹介、中部ブロックの活動報告や予定、井芹全国連盟副理事長の遭難防止の呼びかけなど。

※宣伝の取り組み
クリーンハイイク実施中を知らせるゼッケン着用。

※その他
大宮勤労者山岳会
岡野 和夫 記
(中部ブロック長)



29期

全国女性担当者会議 開催される

期 日 6月26日～27日
場 所 全国連盟事務所

全国連盟事務所に二十三団体(青森から沖縄)約四十二名が集まりました。地方連盟、各単位団体からの活動報告から始まり女性会員の事故の概要は資料を基に説明があり、この事を持ち帰り話し合っ

って欲しい旨の発言がありました。石田良恵氏から事故を防ぐ為、体力を維持及び鍛える為の「山筋ゴーゴ―体操」案が出され、皆で行いました。登山教室、学習会の取



り組みの報告などがあり女性のパワーが溢れ、東京ネットワークの会員のシシャパンマ(8012m)登頂の報告で更に盛り上りました。
(女性委員)

2010年

全国ハイキングリーダー学校のご案内

案内

日時：2010年9月18日14:00～20日10:30
場所：群馬県・湯檜曾温泉 もちや旅館
現地集合・解散
参加費：2万2千円(2泊5食)
主催：日本勤労者山岳連盟(ハイキング委員会)
申し込み先：03-3260-6331 Fax033235-4324
全国連盟 石川

第13回 労山自然保護講座

秋季特別講座の案内

- 日程＝2010年9月11日(土)～12日(日)
- 場所＝三伏峠～塩見岳周辺
- 参加費用＝無料(交通費、小屋宿泊費は実費)
- テーマ「南アの高山植物のシカ被害実態調査」
- 講師・案内＝鵜飼一博氏
(静岡県西部農林事務所勤務) 南アルプス高山植物保護ボランティアネットワーク事務局、日本高山植物保護協会員



登山学校 第2回
登山と運動生理学

7月3日…机上講座
カルタスホール
37名
7月4日…実技講座
白谷沢～棒ノ折山
37名

【登山と運動生理学】を終えて

平成二十二年七月三日は「登山と運動生理学」の机上講習でした。目的は「体組成・体力測定とバランスの訓練を実施し、自分の身体と体力を自覚するとともにバランスの要領を学び安全登山に備える」でした。

行で学び約五時間の行程を体験する」です。朝から晴れており日差しは強く、予想最高気温は30℃を超えていました。その為、体調管理は必須でした。

さわらびの湯バス停にてオリエンテーションと準備体操を行いました。登山の概要…①筋肉を動かすには酸素が必要であり、腹式呼吸を心がける。

②マイペースで歩く。適宜、心拍数を測定し、自己体力を確認する。

③水分・栄養補給や塩分補給をまめに行うこと。

翌日、七月四日の実技講習は棒ノ折山でした。目的は「呼吸法・心拍数・行動食&水分補給等を実際の山

詰めていました。私のザックは10kg前後だったと思います。

白谷沢登山口まで約20分、登山口から20～30分ほど歩いていくと沢がありました。ここまではなだらかな上り斜面で「少し疲れた」と思う程度でした。登山中、腹式呼吸を心がけながら歩きました。疲労が増すと呼吸は速拍します。

しかし腹式呼吸でゆっくり呼吸することを心がけると、疲労感が少ないということを実感しました。しかし脈拍を測定すると通常は70回/分台ですが110回/分くらいまで上昇していました。数年前までの私の脈拍は、ここまで早くなかったと思います。やはり以前より体力は低下していました。

途中、15kgのザックを背負って歩くポッカ体験



が行われました。私は、自分のザックが10kg程度だったため最初は余裕で歩いていましたが、上り斜面から階段に差しかった頃から体力の消耗を感じました。腹式呼吸を心がけていたため、あまり息は上がっていませんでした。階段の一段に足が上がりな

少し我慢しましたが、早いうちに言っておかないと更に迷惑になると思い言い直した。班の皆さんは、迷惑どころか、皆で休憩してくれました。飴などをいただいたり、マッサージをしてくださったり・・・チームワークの大切さを実感し、涙が出そうになりました。

そんな班の仲間と講師の方々に助けられて復活しました。

ただ重いザックを背負うことだけがトレーニングではなく、自身の体力を知ったうえでバランスの要領を把握することが安全な登山に直結するのだと学びました。そして講師の方に「もうすぐ山頂」と励まされながら必死に登り、ようやく山頂につきました。やはり、何とも言えない、この「達成感」は人間を成長させるものだと思えました。

山頂では休憩と写真撮影を終えて下山しました。

下山途中、私は下腿に異常を感じました。「肉離れ」になったことはありませんでしたが、下腿の筋肉に力が入りづらくなっているのを自覚しました。

班の方々に迷惑になると申し訳ないという思いで

に登山している仲間の体調にも配慮できる余裕を持つことが、安全に登山を行う上で重要であることを学びました。これからの講習も、今回まで学んだことを活かしながら更に頑張っていこうと思います。ご指導してくださった講師の方々に深く感謝いたします。

埼玉登山学校十五期生
登攀クラブ岩つばめ
水越礼子記



登山学校 第3回講座
「山での救急法」
8月7日(土) 机上
8月8日(日) 実技
奥武蔵・日和田山
無事 終了しました。



第二回 岩ネット 山行報告

七月十七日(土)～十八日(日) 快晴
那須・那珂川水系苦土川・井戸沢
浦和山の会(四名)わらび山の会(一名)

前日に関東地方の梅雨が明けいきなりの猛暑の中、今月の岩ネットは真夏の太陽の下で沢登りを楽しんできた。

土曜日の夕方、西浦和駅に参加者が集合し定刻に車で出発。パーティーとしては、岩ネット担当の軽部理事と「浦和山の会」の水谷氏の両ベテランが今回初めて沢登りにチャレンジする三名を指導する形になった。

午後7時には今日の幕营地である深山ダムに到着。夕食をとりながら山の話も弾み大いに盛り上がりつつも、軽部理事からは「沢登りはあくまでも本チャンなのだから絶対にゲレンデと同じ感覚で登るな」との注意に加え、幾つかの具体的なアドバイスをもらう。

翌朝は六時に出発。すでに空は快晴の状態でカンカン照りの一日を予感させる。一時間ほどのアプローチの後、井戸沢出合いに到着。

梅雨の最後の大雨のため例年より水量が多いとのことなので早速装備をつけ、水谷氏を先頭にいいよ廻行開始。なお水谷氏にはこの日下山までずっとトツプでパーティーをリードして頂いた。感謝。

途中二度ロープを使用したが、順調に高度をかせぎ詰めへと向かう。沢の水温も冷た過ぎず、炎天下の登攀で火照った身体を冷やすのにちょうど良い感じだ。また、迫力ある滝の眺めに加え、時折開ける前後の展望も素晴らしい。



ガイドブック等によるとこの井戸沢は初心者でも十分に楽しめるルートとして紹介されることが多いが、確かに沢登りの楽しい要素ばかりが凝縮されたルートと言っても良いだろう。私を含む沢デビュー三人組もすっかり沢の魅力にはまっていたようだ。

水が涸れると稜線までガレ場の直登となるが、そろそろ時刻も正午近く、日差し、気温ともにピークとなり、正直かなりきつい。沢の冷たい水が恋しい。

しかし先頭の水谷氏の「着いたぞ」の声に元気づけられ最後の一踏ん張り。ぴったりに正午に稜線上の登山道に到着。全員でここまでこのルートに話を弾ませながら昼食をとった後、下山を開始した。

今回の計画を立てて頂いた軽部理事をはじめ参加者の皆さん、お疲れさまでした！

今回の岩ネットは八月二十二日(日)、沢ネットと合同で奥秩父・ナメラ沢での沢登りを予定しています。
(浦和山の会 井上 記)

【第2回岩ネットに参加して】 わらび山の会 貝田 久

40年ほど前、わらじを履いて丹沢の沢を登ったことがありますが、私の中ではそんな経験はとくにリセットされていて、今回はほとんど初めての沢登りとなりました。まず、インターネットや本で勉強。次に、装備を揃えました。新しく購入したのは、沢シューズ・沢靴下・沢スパッツ。最近が良いものがあることに驚き、また安心もできました。

17日、16時に西浦和を車で出発。那須エリアに入った頃夕立に遭いましたが、無事深山ダムサイトの沼原発電所展示館駐車場に到着、幕営準備。ところが、出るはずの水道が出ません。水道も「仕分け」の対象になったのでしょうか。小雨がぱらついていましたが、テントの中では暑いので外で夕飯を。お酒もおいしく山の夜を堪能しました。

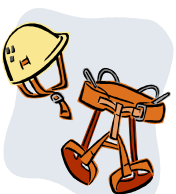
翌朝は快晴、鳥の声に目覚めテント撤収、朝食の後、車で出発。車止めゲートからはひたすら歩きました。

夕べの飲み過ぎを反省しながら、三斗小屋宿跡に到着。もう少し行ったところで、井戸沢の出合いです。河原で沢装備を着け、いいよ沢に入ります。先頭の水谷さん、最後尾の軽部さんに挟まれて、3人の「沢デビュー組」が緊張しながら歩を進めました。沢シューズも足に馴染んだ頃、砂防ダムができて懸垂下降です。小さな段差をいくつか越え、さらに進むと15m「末広がりの滝」の登場です。右側の巻道を水谷さんが登りロープのセッティングをしてくれました。滝の上からは藪こぎで沢におります。

前月の四阿山で痛めた膝も、冷たい水の爽快感を得て何とか持ちこたえられそうです。輝く緑とその間から見える真っ青な空が励ましてくれます。いくつも大小の滝を登り、ふり返ると沼原の池が見下ろせる高さにまで登っていました。シャワークライムの場所や、ナメ状のところもあり、局面ごとに対応しなければなりません。高度を上げるにしがって流れは狭くなり、両側の斜面には、今にも落ちそうな岩がへばりついています。沢登りは常に落石に

注意しなければならぬことを実感させられます。沢を詰め笹の急斜面を登り切った、ついに稜線の登山道に出たときの達成感は格別でした。沢装備を解き、尾根伝いに大峠まで下りるコースはニッコウキスゲが咲き、多くの登山者が楽しんでいました。

資料によると、井戸沢は総合グレード2級となっています。私にはとても面白くドラマチックな体験でした。夏山のもう一つの魅力である沢登りにふれることのできた井戸沢でした。岩ネットの軽部さん、水谷さんと同行者の長岡さん、井上さんに心から感謝します。



加盟団体の動き

中部ブロック 北本山の会

会創立以来、今年で十一年目を迎え、軽いハイキングから縦走、クライミング、海外遠征まで幅広い活動をめざしています。定例会は北本文化センターで月一回、教育訓練山行では地図読みや安全教育、岩場や雪山の歩き方等も実施、他に交流山行等も計画しています。ニュースと年報「友登」を発行。

HPでは会員募集も兼ねて会活動・情報を幅広く市民に公開しています。その中から先に行なわれた地図読み山行の報告をして会の紹介とします。(詳細はHP参照)

松生山(読図講習会Ⅱ)

六月五日

読図講習も今年で7回目となったが、成果は思わしくないようだ。振り返ってみると、地形図とコンパスの使い方に重点を置きすぎたことに一因があるような気がしてきた。そこで、今回は現場の情報を直感的に捉えることに重きを置き、

地形図はそれらの情報を確認するための補助用具とすることを試みた。動物的感觉を呼び起こし、これを磨くことである。さらに、これまでは現地で手渡された地形図を単にお守りのごとく持って歩いていたことにも問題ありと思い、地形図をそれぞれがパソコンを使って自力でプリントアウトすることを勧めてみた。

これらが功を奏したか、今回の結果は以前より格段のレベルアップがみられたような気がする。

山行は2回に分けて実施したが、1回目は現地の天気が思わしくなく日帰り温泉施設の休憩室を借りての机上講習となってしまった。

2回目の今回、ルートは最近整備された松生山の笹

平コースを選んだ。整備されたとはいえ、登山口は分かりにくい。一本道だが何箇所か間違えかねない枝尾根があり、立ち止まって確認作業を行いながら無事に長いコースを歩き終えた。さらに、この結果をふまえ、読図実践山行として、次週、丹沢山系大室山・加入道山へ道志側からの挑戦を計画している。

報告・関根謙一



この夏山から



山の雑記帳

みやまいらくさ(深山刺草)

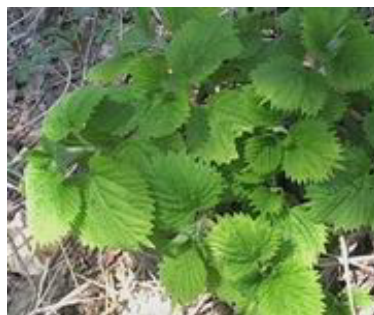
山歩きをしていて、今までに野山で良く目にするなじみの深い草だが、初めてその刺になにげなく触れただけで、物凄い激痛が一日中続き本当にビックリしました。

痺れに近い感もあり、何時までも痛い。調べてみると食用にも、また繊維は糸になるとある不思議な草です。

日本の各地、朝鮮半島、中国に分布し、杉林や湿った沢沿いなどに生え、高さは40～80センチにもなり、葉は広卵形で先端が尖り、縁には鋸葉があり互生します。茎や葉には刺毛が生え、これに触れると強い痛みを感じます。

7月～10月頃、茎の上部に長い雌花序、それより下部に雄花序をつけます。東北地方では山菜の女王「あいこ」と呼ばれクセもなく、若芽がお浸しや和え物などに食されます。

ハイキング委員会 佐藤久子



2010年 各会の夏山計画情報

*三郷山の会

- 7/3～7/5 南蔵王・縦走7名
- 7/11 磐梯山(バスハイク) 20名
- 7/17～19 南ア、白根三山 8名
- 7/18～20 南ア・黒戸尾根～甲斐駒 2名
- 8/13～15 北ア・鹿島槍～針ノ木岳
- 8/13～16 北ア・奥穂高～西穂高

*こまくさ山の会(追加)

- 8/21～22 越後駒ガ岳

*大宮勤労者山岳会(追加)

- 7/5～7 南ア・北岳
- 7/16～19 下田山塊、北ア・笠ガ岳打込谷

*秩父アルペン(追加)

- 8/28～29 白砂山

*寄贈会報より

残暑お見舞い申し上げます

平成22年 盛夏



理事会報告

第五回理事会(合宿)が七月三十一日(土)水上・葉留日野山荘にて六名の出席で行われました。

＊委員会等活動報告・計画

【全国連盟活動】

・東京都連盟・事故情報
6/20 御座山単独登山行方不明。その後の捜索協力でも手掛かりなし。
7/25 奥秩父ブドウ沢(沢ネット)転落事故と救助要請の防災ヘリ墜落事故。また取材記者の遭難事故と三重遭難について。

【機関紙】161号原稿依頼し印刷8/14予定
【女性】6/26-27…全国女性担当者会議参加。
【ハイキング】9/18-19全国ハイキングリーダー学校の案内と参加者募集中。
【自然保護】クリーンハイク集計報告

【海外】中国大姑娘山 5025m(ハルビン)…三郷山の会5名(男2名・女3名)。
【組織】全国組織会議から！会員減少で財政がきびしくなった大阪労山各理事が会員拡大運動を展開。参考に。
①インターネットで会員拡大アピール②会・クラブを充実させる。イ)地域の登山愛好者との交流ハイキング実

施 ロ)地域のイベントに会・クラブ等が積極的に参加し、会員拡大をする
【教育遭難対策】10/2-3 第12回全国遭難対策担当者会議に参加予定。
【救助隊】7/12 沢技術学習会(パルコ9F) 7/25 沢の搬出訓練…稲村岩付近の沢にてチロリアンブリッジのシステム作り、「引き上げ」「引き下ろし」の訓練をする予定がメンバーが足りず、鷹ノ巣谷廻行と変更となった。
【登山学校】第2回「登山と運動生理学」7/3机上…カルタスホール7/4実技…棒ノ折山 35名 第3回「山での救急法」8/7机上…カルタスホール・8/8実技…日和田山 29名
【ホームページ】各専門委員会がホームページを積極的に活用し、更新をめざす取り組みをする。

【岩ネット】7/17-18 那須・井戸沢 5名参加予定
【沢登ネットワーク】8/9準備会…パルコ9F9:30～、8/22 奥秩父ナメラ沢チーム編成について検討
【ブロック活動】西部…9/2会議、11/21交流ハイイク計画。南部…8/19会議 秋の交流山行計画中。

＊議題
①第1回評議会・総括！
・個人会員制度の概要について「たたき台」の作成(別紙)―木阪事務局長作成―
評議会で「全国連盟資料はわかり難く会員に説明しにくい。もっと簡素化して」との指摘からまとめて頂きました。内容、骨子表現の確認…問題なし。
＊個人会員制度は全国連盟の動きを見ながら、県連としても検討する方向で考える。登山学校のご尽力とHP等の充実で会員が徐々に増えている。
・加盟団体の評議会参加が少なかったことについて
＊埼玉労山を考えると会・クラブ等で積極的に会員拡大をしている会を県連で支援する。
②安全登山講演会について
期日 11月28日(日) PM
場所…西与野コミュニティホール
講師…齋藤 繁 教授
100名規模、講師の交通費、謝礼等、パンフ作成は遭難防止・安全教育担当(尾手)③その他
『労山五十周年記念講演会』
期日：10月9日(土)
12:30開場 13:00～16:00
会場：宮城生協文化会館ウィ

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題

＊議題



高橋、武笠 記

ズ(仙台駅)八乙女駅 地下鉄約15分)
参加費…(資料代)500円
内容…田部井淳子さんのお話「世界の山々をめざして、私の生き方」、労山女性委員会ミニ講座「元気で山登り」山の歌声、山筋ゴーゴー体操
申し込み先…女性委員会、久保典子(新座山の会)、廣岡美恵子(ビスターリ)締め切り…8/31まで
『関東ブロック役員交流会』
9/25-26 山梨清里
二日目…八月一日(日)は快晴の中、上州武尊山に登って来ました。
(コースタイム)
5:30起床、6:30山荘出発、武尊神社登山口7:10、頂上11:30-12:30、武尊神社登山口下山16:23
以上。

田部井淳子さん 労山50周年記念 講演会
世界の山々を目指して、私の生き方

2010.10.9(土) 13:00-16:00 会場 宮城生協文化会館 ウィズ
参加費 500円(資料代) 会場 宮城大学市民ホール (熊本市民会館) 熊本市民会館 130

2010.10.2(土) 13:00-16:00 会場 宮城大学市民ホール (熊本市民会館) 熊本市民会館 130

第1部 田部井淳子さんのお話し 第2部 労山女性委員会

田部井淳子さんのプロフィール
福島県出身、昭和女子大学文学部卒業。1950年に女子登山クラブを設立。75年に世界最高峰エベレスト(8848m、82年に世界7大陸の最高峰喜望峯にいずれも女性で初めて成功した。現在まで50方面の最高峰を登頂。テレビや執筆の分野でも活躍している。

埼玉版 募集パンフです。

田部井淳子さん 労山50周年記念講演会

一世界の山々を目指して、田部井淳子さんの生き方―
60年にわたって世界の、日本の山々を登り続けている田部井さん。山の素晴らしさ、元気の秘訣を存分に語っていただきます。

2010.10/9(土)
13:00-16:00 開場 12:30
参加費 500円(資料代)
会場 宮城生協文化会館 ウィズ
仙台市青葉区八乙女4-2-2
※仙台駅へバスアクセス(地下鉄約15分)

第一部 田部井淳子さんのお話し 13:30-15:00
「世界の山々を目指して、私の生き方」
第二部 労山女性委員会ミニ講座「元気で山登り」
山の歌声、山筋ゴーゴー体操

主催 日本登山者山岳連盟
共催 宮城県登山者山岳連盟
協賛 みやぎ生活協同組合

現地集合・解散 申し込み締め切り 8月末日
申し込み先 久保 典子 (新座山の会) 090-5530-5068 kubo10@for.ion.ion.ne.jp
廣岡美恵子 (ビスターリ) 049-243-3445 (伊原 寛)

埼玉版 募集パンフです。

魅惑の山々 2011
申込受付中

○第1次締切日 8月31日
○第2次締切日 9月15日
○その後の締切日 9月15日
※各1次、納品9月中旬
※2次は、納品10月中旬となり
ます

来年度カレンダーが発行されます。
申込は例年通り、各会で
1部 1200円(1000円)

【編集後記】 本格的な夏の季節を迎え、酷暑と言われるほどに暑い日が毎日続き、職場は快適？でも家に帰れば健康志向・冷え性の家族にクーラーや扇風機の稼働率も悪く、おまけに夏は暑く汗をかくのはあたりまえと言われ、寝苦しい毎日について水分の補給と称してアルコールや清涼飲料水をがぶ飲み！避暑地(居酒屋)にいりびたりの不健康な生活を過ごしているような気もして…。澤